

1992年(平成4年)

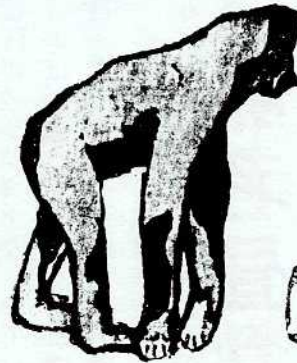
1月12日

*年4回発行

*校区全戸配布

事務局・堺市赤坂台2丁5-1(保育園内) ☎ 98-4500

賀正
92



〔版画は為村収二郎・赤坂台福祉協議会長の作品〕

梅は匂^{には}ひよ 木立^{こたち}はいらぬ

人はこころよ 姿^{すがた}はいらぬ

*隆達小歌は、江戸時代初期に堺の僧高三隆達(たかさぶ・りゅうたつ)が創始した歌謡(大岡信『新編 折々のうた』朝日新聞社より)

隆達小歌



赤坂台校区の

みなさん

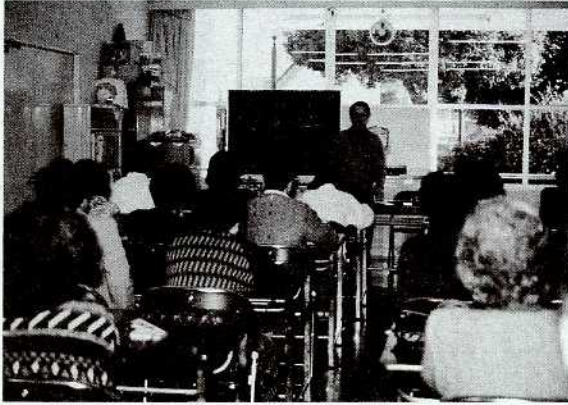
新年おめでとう
ございます。

昨年はお陰様で校区福祉協議会の活動が大きく前進いたしました。今年も役員一同心を合わせて、だれでも安心して住める赤坂台つくりを微力を捧げたいと思いますので、倍旧のご協力をお願いいたします。

延べ七四名受講

ボランティアアスクール

赤坂台校区福祉協議会主催 受講者は九日が二八名、一の平成三年度ボランティアアスクールは、一月九日、一四日、一六日、二〇日の四回にわたって赤坂台自治会館で開催されました。



講義内容は以下の通り。

- ◇第一回 「暮らしの中の福祉」船曳保宏氏（大阪府立大学社会学部教授）
- ◇第二回 「暮らしの心理学」米沢富士男氏（大阪府立大学総合科学部教授）
- ◇第三回 「相談・面接の技術」田中美智子氏（大阪ボランティア協会）
- ◇第四回 福祉ビデオ観賞と懇談、担当は本会の為村会長と佐藤副会長。

恒例の赤坂台校区福祉協議会「新年交礼会」を、一月二日（日）午前九時半から、赤坂台自治会館二階で行います。本会では、構成団体相互の情報交流の場として、一月の新年交礼会と六月の定例総会を併用しています。

新年交礼会

1月26日

六日（日）午前九時半から、赤坂台自治会館二階で行います。本会では、構成団体相互の情報交流の場として、一月の新年交礼会と六月の定例総会を併用しています。

赤坂台校区ボランティアグループ「ほのぼの会」では、

一月二日（土）午前十一時から午後一時ごろまで、独居老人の方々との交流昼食会を開催しました。

敬老昼食会

が出席、予想以上の盛會でした。

今回で二度目です。

この会の目的は、屋内に籠もりがちなお年寄りをお誘いし、戸外の空気に触れて若返り、

連合自治会のページ

第十七回堺市民オリンピック

第十七回市民オリンピックは、前号でお知らせのとおり十月十日、金岡公園競技場を中心で開催されました。

午後からは、台風の影響による雨の悪条件の中、選手の皆様のご健闘により、例年に

ない好成绩をあげました。

競技種目別の成績は、左記のとおりです。

*ソフトボール 準優勝

*バレーボール 優勝

*卓球 優勝

*陸上競技

男子百発 決勝進出

入賞はならず

女子四百ヤリレー

準決勝進出

入賞はならず

*ゲートボール

男子 準優勝

女子 三位

*綱引 女子 三位

実施に当たり、体育委員の皆様には、何かとご協力をいただきました。

これも好成绩を支えた一つ



の背景であり、厚くお礼申し上げます。

又、応援に来場された住民のご声援によるもので、併せて厚くお礼申しあげます。

大阪府立花の文化園

見学会

(婦人委員会 富田記)

今秋は台風・大雨と悪天候が続きましたが、十月三日は幸いに素晴らしい秋晴れに恵まれ、九時赤坂台マーケット

前を出発、河内長野市の大阪府立『花の文化園』へ、高齢者の皆様と参りました。

到着後、園芸指導員の方の楽しいお話と、空ピンを利用した『プミラの密閉挿し』を作り、和気あいあいの昼食をとり、楽しい一日を過ごしました。

これは『ふるさと祭り』の会場で開催したバザーの収益で企画したものです。地域の皆様のご協力で、このような催しが出来たことを感謝いたします。

今後とも婦人委員会では、前向きに種々の行事を考えており、次の予定として婦人を対象の日帰り旅行を検討しております。

光明池地区

親睦ソフトボール大会

十一月十日開催され、五丁チームが優勝しました。



交流国際の根草

アイランド少年

夏川ニ子知子(五丁二八―五)

この夏、韓国でのボーイスカウト世界ジャンボリーに参加するイギリス隊の二人の高校生をホストファミリーを引き受けました。

「アメリカ人？」と聞かれると、「ノー、アイリッシュ」とすこい勢いで訂正する誇り高いアイランドの子どもたちでした。

「どこの子どもも同じじだなあ」と思われたのは、家のCDラジカセを説明なしで使いこなし、持参のテープをガンガンかけながら夜遅くまで、これまた持参の任天堂のゲームボーイに熱中。「も

う寝なさい」と言っても二時くらいまで起きています。初めてする花火でも危険なこ とばかりで楽しむのでハラハラさせられました。憧れは日本橋の「でんでんタウン」。アイランドでは職場が少ない、日本の企業にたくさん来て欲しいと言いつつ残して帰っていきました。

七月一八日から一二日間、米国パークレイ市のガールスカウトが訪嵜されました。堺市と同市とは姉妹都市なので定期的にスカウトの交歓訪問を行っています。

リーダーのミス・ウエストが四日間、私の家にホームステイしました。彼女が乾燥したカリフォルニア州から来られたので、多湿な日本でのハードスケジュールで体調を崩されたにもかかわらず、すべてのプログラムに精力的に参加され、日本の歴史と文化、風習そして私

子どものための音楽会

青少年指導委員幹事 四谷 任

一月三日(文化の日)に小学校講堂で「第九回子どものための赤坂台音楽会」(主催・青少年健全育成委員会、後援・連合自治会)が開催されました。聴衆四〇〇名、演奏者一六〇名、運営は青少年が主体で五〇名でした。ピアノ・エレクトーン演奏、

パークレイからの客

石川孝子(六丁一九一―〇)

ティされました。

当日のアンケート調査(四〇〇配布、回収率三六%)では、(1)三・四〇歳代の参加が多い、(2)半数が初参加、常連は三五%、(3)内容・プログラムにはほぼ満足、(4)次回一〇周年記念会場は小学校でいいが八五%、などでした。

最後に関係各位のご尽力に感謝いたします。

堺・パークレイ姉妹都市スカウト交歓キャンプに協力いただいた方々に感謝します。

保育とは

保育園に入るためには、福祉事務所に申請書を提出して児童福祉法による「保育に欠ける」児童としての認定を受けなければなりません。

保育に欠けるとは、簡単にいえば「子どもの安全、成長

発達を助ける大人がいない」ということになっています。

典型的な事例は、お母さんが仕事を

もってお勤めに出ている家庭のことです。

では保育とはどういうことなのでしょう。幼い子どもをいたわってやり、面倒をみてやり、世話をしながら教育することであり、保護することと教育することを一体として暖かく包んで育てることを「保育」というのです。

保育と遊び

子どもは生まれた時から全面的に大人に依存して生活しますが、幼児期は自我と社会性の発達の著しい時期であり、知識や経験を広め、健康な体力と物事に対処する能力を身につけることなど、生活方法

り、学校教育の教科との違いがここにあります。部屋遊びだけでは問題ある日、高層住宅のエレベーターで四歳ぐらいの男の子と乗り合わせました。彼は手にしている棒で「一三階」を

重大です。さきに述べましたように、幼時期は近所遊び、仲間遊びの中で獲得し、発達させなければならぬものが多くあり、それが人格形成に大きな影響をもちます。しかも発達というものは、発達すべき段階で発達させなければ後になって獲得することは困難なのです。部屋の中だけで育った子どもは母子分離にも問題があり、社会性も身につけずに少年になってしまいがちです。

遊びの大切さと保育



佐藤 祐弘

「うまいこと考えたなあ」「だって背が足らんもん」。この短い会話のあと私はこんなことを考えました。こ

の学習、社会性や人間関係の学習をする大切な時期です。そして、それらは仲間遊びの中で学びます。遊びは子どもにとって欠かすことのできない重要な意味があるのです。保育はこの遊びをそれぞれの発達段階に合わせて科学的、総合的に組み立てたものであり、もし、そうだとしたら事は

年々子どもの数は減り続け、三千百戸の赤坂台に一歳児は九十人を割りました。その上住宅様式が近所遊びもできないことになる、最近は入りやすくなった保育園とはいえ、「保育に欠ける」とは何なのか。行政にも考え直してもらわねばなりません。(社会福祉士・赤坂台保育園理事長)

一六〇〇名で大成功

第五回子どもカーニバル

第五回赤坂台子どもカーニバル(主催・校区福祉協議会)は、晴天に恵まれた一〇月二〇日に小学校庭で開催され、他校区からを含む一六〇〇人が参加、大成功でした。

「子ども自身が考え、遊び

福祉協議会構成団体紹介の

サッカー

少年団

堺の少年サッカーは、わが赤坂台サッカースポーツ少年団が加盟したころ(一九七八年)はせいぜい一〇チーム程度でしたが、いまや五〇チームを越す盛況です。

赤坂台サッカースポーツ少年団は、市内大会優勝一三回・府少年サッカー選手権大会優勝一回の輝かしい足跡を残

の場を作り出すカーニバル

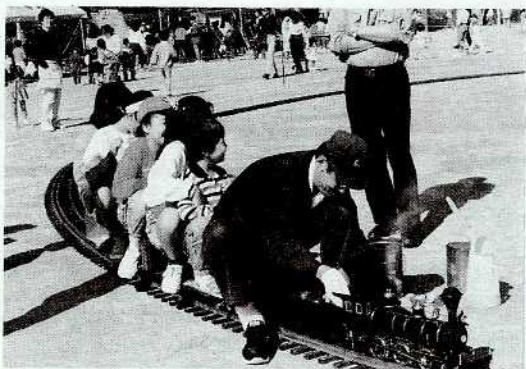
をテーマに、子ども会・スポーツ団体・学童保育など一四団体が、工夫をこらしたコーナーを出展、運営も子ども自身がしました。一丁子ども会の「いろいろボーリング」、

し、小学校大会四連覇、大会全試合をPK戦で勝ち抜いて(PK機会二一回全部成功)

PKの赤坂台の異名をはせるなど、堺に赤坂台ありといわれています。「赤坂台に勝つてみたい」が少年サッカー指導者の口癖にもなりました。

最近の戦績は中の上あたりでいささか停滞気味ですが、クリーンでフェアなゲーム運びはやはり堺随一です。

(監督・乾 幸雄)



役員・実行委員の皆さん、

二丁子ども会の「空き缶つみあげ競争」... などなど。小学校PTA・幼稚園父母の会・保育園保護者会・中学校プラスバンド・高齢者クラブ・ほのぼの会・赤坂台郵便局・泉北警察署・泉北消防署などにも賛助出展していただき、特別出場のミニSLも大

◆◆編集余話◆◆
★サル歳の初夢！赤坂台公園横にデラックスしかも低廉な老人ホーム出現、経営は校区福祉協議会、サービスマン全、ほのぼの会の奉仕も嬉しい：というのはいかがが。★平成三年度共同募金、校区全体で三七万七三〇二円、ご協力に感謝します。★福祉協議会へのアペイリトからの空き缶リサイクル寄付は一月く九月分合計一二万五九八六円、有難うございます。校区の皆さま一層のご協力を。★堺市地域福祉活動助成金で本会に新鋭ワープロ入る。これまた感謝。「ハロー」の字が奇麗になったのはそのため。★同じく市の助成で設置したコピー機は、保育園から自治会館内連合自治会事務室に移動しました。おおいに活用してください。(M)